

ティファール 電気ケトル

Delfini Lock

デルフィニ ロック 0.6L

製品番号 : KO160*

TYPE : KO16*



はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	4
各部の名称と機能	5
ご使用の前に	6

使い方

お湯の沸かし方	7
使い終わったら	10

その他

お手入れの方法	11
故障かなと思ったら	12
製品仕様	13

- お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 読み終わったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

キリトリ線

Ref: 3206002044-04

株式会社 グループセブ ジャパン

本社 : 〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様
相談センター**0570-077772**

ナビダイヤル® 受付時間 : 9:00~18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター**0570-086072**

ナビダイヤル® 受付時間 : 9:00~18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

修理センター

※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

● 本製品は家庭用です。業務用または一般家庭以外での使用や取扱説明書の指示に反する使用について、弊社は一切の製造責任と保証の責任を負いかねます。

絵表示の例



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が表記されています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が表記されています。



警告 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

電源・電源コード



指示

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する

他の機器と併用すると、発熱による火災や故障の原因になります。



禁止

海外など、異なる電源電圧の地域で使用しない

当製品は日本国内専用です。

ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しない。電源コードを電源プレートの裏側に巻き付けたままにしたり、束ねたまま使用しない。発火、故障の原因になります。



指示

電源プラグや電源コードに損傷があるとき、または使用中に異常に熱くなるときは、ただちに使用を中止する

そのまま使うと、ショートや発火するおそれがあります。弊社修理センターまでご相談ください。

異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

そのまま使うと、ショートや発火するおそれがあります。弊社修理センターまでご相談ください。



禁止

電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない
そのまま使うと、感電、ショートや発火するおそれがあります。



指示

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。
● 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。



電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
● 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。



電源プラグや電源コードを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

お取り扱い



分解禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造しない

発火したり、異常作動をしてけがをするおそれがあります。



禁止

ふたを開けたまま湯を沸かさない

湯沸かし中は、確実にふたを閉めてください。湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。

ふたを持ってケトル本体を移動させない

湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。

注ぎ口をふきんなどでふさがない

湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。

本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったりしない

湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。

水につけない

感電・ショート・火災、故障の原因になります。

直火（ガス台などや電気ヒーター）、電磁調理器（IH）、電子レンジなどに使わない

火災・熱変色・変形・故障の原因になります。

ケトル本体の底部や電源プレートを水につけたり、水に濡らしたりしない

ショートしたり、感電するおそれがあります。

標高2000m以上の場所で使用しない

湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。



禁止

加熱中に給水しない

湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。

ふたを勢いよく閉めない

湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。

ケトルを転倒させない

湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない

やけど・感電・けがをするおそれがあります。

MAX（満水）ライン目盛り以上の水を入れない

水を入れすぎた場合、熱湯が飛び出すことがあり、やけど・感電・けがをするおそれがあります。

電源プレート中央の接続部（金属部）やケトル本体接続部や電源プラグをなめさせない

感電やけがのおそれがあります。特に乳幼児には触らせないでください。

氷を入れるなどして保冷用に使わない

内蔵の電気部品に水や露がつき、感電・故障の原因になるおそれがあります。

安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）には、単独で使用させない。また、製品で子供が遊ばないように注意する

やけど・感電・けがをするおそれがあります。



注意 誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性および物的損害が想定される内容です。

電源・電源コード



コンセントからはずす

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



指示

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電したりショートしたりして、発火するおそれがあります。

お取り扱い

！ コンセントに電源プラグを差し込んでいるときは、電源コードを引っかけないよう気をつける

指示 本体が落下し、やけどやけがをするおそれがあります。

○ 専用の電源プレート以外は使わない。また、付属の電源プレートを他の機器に転用しない

禁止 発火、故障の原因になります。

湯沸かし中または湯沸かし直後は、ふたを開けたり、注ぎ口に触れたり、蒸気に手を近づけたりしない

注ぎ口などから熱い蒸気が出て、やけどをするおそれがあります。

湯沸かし中は、移動させない

湯が流れ出たり、蒸気でやけどをするおそれがあります。

牛乳を沸かす、紅茶を煮出す、スープを作るなど、湯沸かし以外の目的で使用しない

ふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。さらに、故障や汚れの原因にもなります。

使用中および使用直後に取っ手以外の本体および注ぎ口には触れない

やけどをするおそれがあります。

○ 壁や家具の近くで使わない

禁止 蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

ストーブやガスコンロなど熱源のそばや直射日光が当たる場所では使わない

本体のプラスチック部分が熱で損傷し、けがややけどをするおそれがあります。

ガラス窓の近くで使用しない

ヒビが入ったり割れることがあります。

不安定な場所や、熱に弱い敷物の上、可燃物の近く（カーテンの近くなど）では使わない

火災の原因になったり、けがややけどをするおそれがあります。

瓶やカップなど、水以外のものをケトルの中に入れない

ふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。さらに、故障や汚れの原因にもなります。

電源プレート中央の接続部（金属部）にピンを差し込んだり、ゴミを付着させない

感電、ショート、発火の原因になります。

使用上のご注意

- ケトルに水が入っていないときは、スイッチをオンにしない
故障の原因になります。
- ふたを開けた状態のまま、湯を沸かさない
本製品は、ふたをした状態で湯を沸かす仕様になっています。
- 水質改善材・浄化材（備長炭）など、水以外のものをケトルの中に入れないでください
故障の原因になります。
- 本製品は湯沸かし専用にお使いください
- 本製品に保温機能はついていません
- 本製品は一般家庭用です
- 本製品は必ず屋内で使用してください
- 直射日光が当たる場所への本製品の設置、ご使用はお控えください
故障の原因になります。
- 長期間使用しないときは、十分に乾燥させたあと、においがつかないようにポリ袋などに入れて保管してください
- 200ml以上の水を入れてご使用ください

お知らせ

ケトルは、工場出荷前に水を入れて検品をしています。まれに、本体内に白い跡が残ることがございますが、検品時の水の跡ですので、2～3回すすいだ後、安心してお使いいただけます。

！ 注意 ジャーポットと違い、湯沸かし中や沸とう後は本体が熱くなっていますので、ご注意ください。

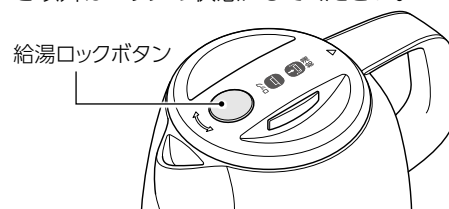
各部の名称と機能

給湯ロック機能

※ 給湯ロックはふたの開閉をロックするものではありません。

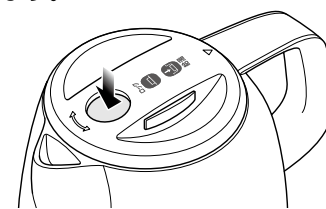
ロック状態

給湯ロックボタンが上がっているときは、注ぎ口からお湯が出ません。お湯を注ぐとき以外はロックの状態にしてください。




ロック解除

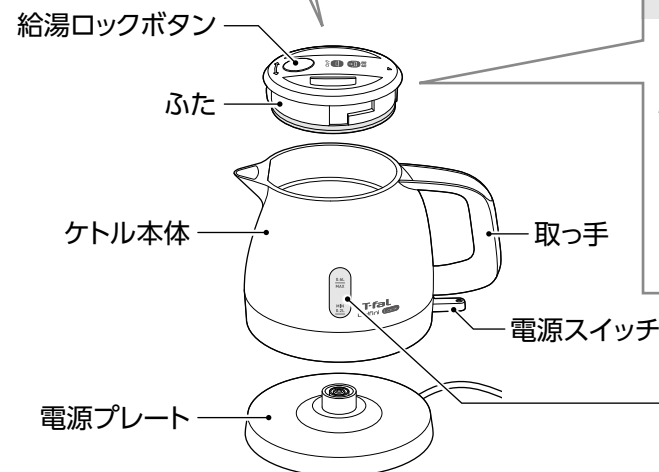
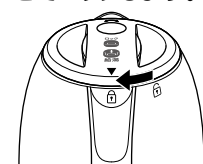
給湯ロックボタンを押した状態にすると、ロックが解除され、注ぎ口からお湯を出すことができます。



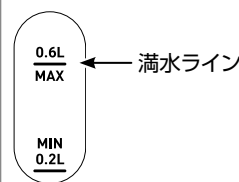
ふたのロック方法

※ ふたロックは給湯をロックするものではありません。

ふたを取り付けた後、時計回りに回して▼マークを  に合わせてロックします。



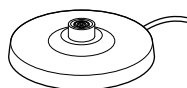
容量目盛



- 本製品は、ケトル本体と電源プレートのセパレート式になっています。
- 電源スイッチを入れないと作動しません。
- 空だきをすると、本体内の安全装置が作動して、ヒーター部への通電が自動的に切れます。

ご使用の前に

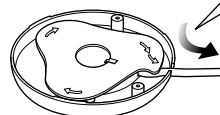
1 電源プレートを置く



電源プレートは清潔で平らなところに置きます。

！ 注意 付属の電源プレート以外は使用しないでください。

電源コードのセット方法



切り込みに
セットする

<電源プレート裏>

電源プレートの切り込みに電源コードを確実にセットしてください。

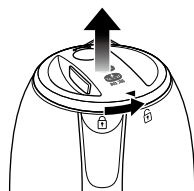
● 電源コードを電源プレートの裏側に巻き付けたままにしたり、束ねたまま使用しないでください。発火、故障の原因になります。

お知らせ コードリールではありませんので、電源コードをひっぱって長さを調節することはできません。


2 ふたの開け方、閉め方


開け方

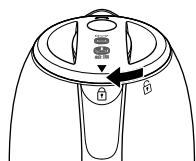
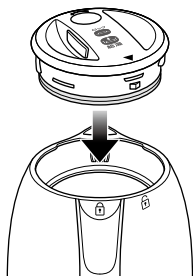
ふたを反時計回りに回して、ふたの ▼ マークを  マークに合わせ、取り外します。



閉め方

① ふたの ▼ マークを  マークに合わせて置きます。

② ふたを時計回りに回し、ふたの ▼ マークを  に合わせてロックします。



！ 注意 ふたがしっかり閉まっていないと、湯沸し中にふたが開いたり、湯を注いでいるときにふたが開き、やけどをすることがあります。

お湯の沸かし方

1 ケトル本体に必要な量の水を入れ、ふたを閉める



お知らせ

カップ1杯相当（約140ml）から沸かせますが、水量目盛のMINライン（200ml）以上でのご使用をおすすめします。

！ 注意

- 使う前に必ず、ふたの内部に水が残っていないことを確認してください。
- 初めてケトルを使用する際は、念のため最初の2～3回はすすいであらご使用ください。
- 電源プレートの上に本体を載せた状態のまま水を注ぐことはおやめください。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは、水に含まれるミネラル成分がケトル内部に付着しやすくなります。
- 水を入れすぎた場合、熱湯が飛び出すことがありますので、MAX（満水）ライン以上は水を入れないでください。また、水を入れないまま、空だきをしないでください。故障の原因になります。
- 水以外のものは沸かさないでください。ふきこぼれ、故障の原因になります。
- ふたがきちんと閉まっているのを確認してください。
ふたがきちんと閉まっていないとお湯が沸いてもスイッチが切れない場合があります。

2 ケトル本体を電源プレートに正しくセットする

電源プレートにセットする際は、ケトル本体が安定していることを確認してから手を離してください。



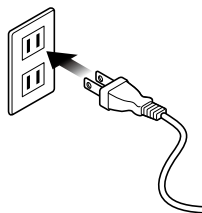
お湯の沸かし方 (続き)

3 電源プレートのプラグをコンセントに差し込む



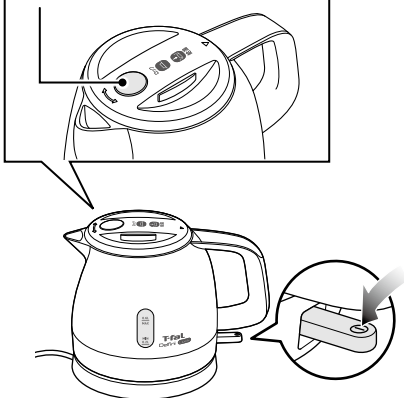
注意

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災、故障の原因になります。



4 給湯ロックボタンが「ロック」の状態になっていることを確認し、電源をオンにする

給湯ロックボタンが上がっていることを確認する



取っ手下の電源スイッチを押します。



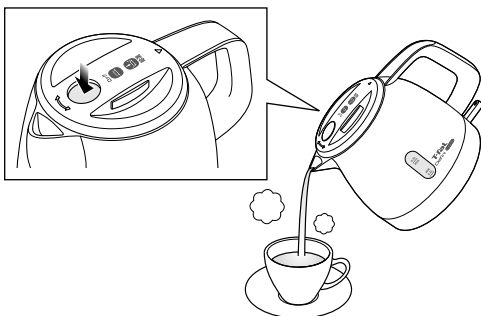
注意

- お湯を沸かしている最中は絶対にふたを開けたり、蒸気に手を近づけたりしないでください。やけどをすることがあります。
- 電源スイッチの周囲に障害物がないことを確認してください。コード等が引っかかり電源が自動的に切れないことがあります。

お湯が沸とうすると、電源は自動的に切れます。

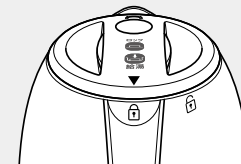
- お湯が沸とうするまでの時間は、水量・水温・室温などによって多少異なります。
- お湯が沸く前に電源を切る場合は、電源スイッチを上押ししてオフにしてください。

5 沸とう状態がおさまったら、給湯ロックボタンを押してお湯を注ぐ



- 電源スイッチがオフになっていることを確認し、本体を電源プレートからはずしてお湯を注いでください。
- ケトル本体を電源プレートに戻す際は、ケトル本体が安定していることを確認してから手を離してください。

- お湯を注ぐ前に、ふたがロックされていることを必ず確認してください。ふたがロックされていない状態でお湯を注ぐと、ふたが落ちてやけどの原因になります。



注意

- 取っ手以外のケトル本体および注ぎ口は非常に熱くなります。やけどをするおそれがありますので、触れないでください。
- 沸とう直後にふたを開けないでください。やけどをすることがあります。
- お湯を注ぐ際、急にケトル本体を傾けないでください。注ぎ口から湯が飛び出すおそれがあります。
- 注ぎ口から出る蒸気や、ふたを開けるときの出る蒸気に触れないでください。



注意



指示

使用後、ふたを開けたときに、ふた内部から熱い湯滴が落ちることがあるので注意する
やけどをするおそれがあります。



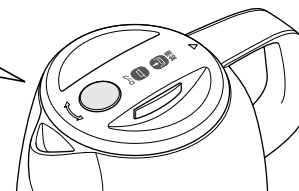
禁止

湯沸かし中や湯沸かし直後は、絶対にふたを開けたり、ふた周辺や注ぎ口から出る蒸気に手を近づけたりしない
やけどをすることがあります。

- お知らせ
- ケトル使用後しばらくすると、カチンツと音がすることがありますが、これは熱せられたプラスチックや金属部分が冷めるときに発生する音ですので、製品に問題はありません。安心してお使いください。
 - 電気ケトルは蒸気を感じてスイッチが切れる仕組みになっています。この蒸気が、本体底部から水滴となって垂れることがありますが、故障ではありません。

6 注ぎ終わったら、給湯ロックボタンを再度押して「ロック」状態にしておく

使わないときは
ロックする



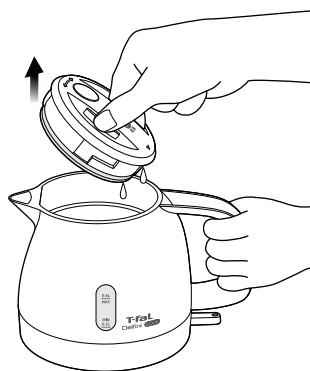
使い終わったら

電源をオフにして、残ったお湯を捨てます。

- ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ご使用後は、水あかの付着をおさえるため、お湯を残さず、ケトル内部を空にしてください。



- お湯がふたの中に残っている場合があります。ふたを外す際には、ふたを取っ手側に傾けながらゆっくりと外してください。



注意

- 使い終わった後は、十分に冷えたことを確認してからふたを取り外してください。
- 取り外したふたはよく振って、内部に残った水滴を必ず排出させてください。

お知らせ 連続して使用したあとは、個人差により取っ手と本体が熱く感じられる場合があります。

お手入れの方法

長期間清潔にご使用いただくためには、定期的にお手入れをしてください。

本体外側のお手入れ

本体が冷めるのを待ち、やわらかい布で拭いてください。

がんこな汚れには、ぬらした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。



注意

- 必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めるのを待ってからお手入れをしてください。
- ケトル本体と電源プレートを水に浸けることは絶対におやめください。故障の原因になります。
- 磨き粉や金属タワシ、漂白剤などを使用しないでください。傷がついたり変色したりするおそれがあります。

本体内側のお手入れ

内側に汚れが目立ってきたら、定期的にお手入れをしてください。

なお、本体内側の汚れ（白い浮遊物、虹色などの変色、白いはん点、赤さび状のはん点など）は、水に本来含まれるミネラル成分の作用によるものです。

衛生上問題ありませんので、ご安心ください。



注意

熱や蒸気に触れる樹脂部品は、ご使用にともなって傷んでくる場合があります。食品衛生上安全な材料を使用していますが、変色したりザラザラしてきた場合は交換してください（有償となります）。

通常のお手入れ



水でよくすすいだ後、乾いたふきんなどでしっかりと拭いてください。

汚れが落ちにくい場合—クエン酸を使って

- 1 水をMAX(満水)ラインまで入れ、その中にクエン酸(15g程度)を入れて、かき混ぜます。
- 2 ふたを閉めて沸とうさせ、その後、約1時間放置します。
- 3 お湯を捨て、水で十分にすすぎます。
- 4 クエン酸のにおいが気になるようでしたら、水だけを入れて、再度通常どおり沸とうさせ、お湯を捨ててください。



注意

本体内側をお手入れする際は、柔らかいスポンジをお使いください。また、強くこすらないでください。表面に傷がつくおそれがあります。

ふたのお手入れ

水ですすいだ後、乾いたふきんなどでしっかりと拭き、乾かしてください。


故障かなと思ったら

このようなとき	原因	対処方法
ケトルが作動しない、または沸とう前に止まってしまう	コンセントにプラグが入っていない。	電源プレートのプラグを確実にコンセントに差しこんでください。
	空だきしたため、安全装置が作動して、ヒーター部への通電が自動的に切れた。	ケトル本体を電源プレートからはずし、熱を冷ましてから水を入れてください。
お湯を沸かすとプラスチックくさい	プラスチック製電気製品（本製品）は、一般的にプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいが出ます。	においが気になる場合は、以下の手順でお手入れをしてください。 [重曹によるにおいの軽減の方法] 1. 水をMAX（満水）ラインまで入れ、その中に重曹（15g程度）を入れます。 2. よくかき混ぜて重曹を溶かします。 3. ふたを閉めて沸とうさせ、その後、半日（約12時間）放置します。 4. お湯を捨て、水で十分にすすぎます。
水が漏れる・ふき出す	MAX（満水）ライン目盛りより多く水が入っている。	水量をMAX（満水）ライン目盛り以下に減らしてください。
	水以外の飲料が入っている。	水以外は沸かさないでください。
	ふたの内部に水が残っている。	加熱する前にふたをよく振って内部に残っている水を排出させてください。
	本体内の蒸気管に水・お湯が入った。	水やお湯が入った本体を取っ手側に傾けたり、激しく振ったりすると、お湯が本体内の蒸気管に入って底面からこぼれ出るおそれがあります。水やお湯が入っている本体は丁寧に扱ってください。

製品仕様

電気ケトル T-fal Delfini Lock 0.6L（デルフィニ ロック 0.6L）		
定格電圧	100V ～	
周波数	50/60Hz	
定格消費電力	1250W	
最大容量	0.6L	
質量（全体）	約950g	
サイズ（全体）	幅	約22cm
	奥行き	約16cm
	高さ	約17cm
電源コードの長さ	約1.3m	
温度ヒューズ	192℃	

※ 仕様・デザイン・価格等は変更になることがあります。ご了承ください。
※ 本製品は日本国内のみで使用できます。
※ 本製品は中国製です。
※ 標高の高い場所、厳寒地などでは所定の性能が発揮できない場合があります。



愛情点検

●長年ご使用の電気ケトルの点検を！

こんな症状はありませんか？

- コード、電源プラグ、電源プレートに損傷が見られる。
- ご使用中にコードや電源プラグが異常に熱くなる。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- いつもより本体が異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
- 本体から水が漏れる。
- パッキンがはずれていたり、損傷が見られる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状が見られるときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずグループセブジャパン修理センターに点検・修理をご相談ください。

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様
相談センター



0570-077772

ナビデジタル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072

ナビデジタル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

修理センター



0570-086072

ナビデジタル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。